



玉置神社本殿―十津川村で



玉置神社 (十津川村)



「神様に呼ばれないとたどり着けない」といわれる玉置神社は、大峰山

早玉神をまつった聖域

脈の南端に位置する標高1076㍎の玉置山の9合目に鎮座します。車のすれ違いも困難な曲がりくねった細い山道を進むと、野生のシカやサルに出会うことも。境内には、樹齢3000年といわれる神代杉など、大杉が群生しています。

創建は、第10代崇神天皇の時代、王城火防鎮護と悪魔退散のため、早玉神をまつったことに始まると伝わります。「熊野なる玉置の宮の弓神楽、弦音すれば悪魔退く」と詠まれました。吉野から熊野を結ぶ大峯奥駈道は、役行者が8

世紀初めに開いたとされる修験道の修行の道です。玉置山は10番目の行場で、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産の一つです。パワースポットとして知られる「玉石社」は、鳥居が点在する大峯奥駈道を約15分登ります。霧に包まれることも多

く、神秘的な雰囲気があります。神武天皇が東征の際、この地に十種神宝の「玉」を鎮めて武運を祈願したとか、役行者や空海が如意宝珠を埋めたなどの伝承が残り、玉置の名前の由来とも言われます。木の根元は滑りやすいので、気をつけてお参り下さい。

(奈良まほろばソムリエの会会員 山崎愛子)

(住所) 十津川村玉置川1
(祭神) 国常立尊、伊弉諾尊、伊弉册尊、天照大神、神日本磐余彦尊

津川温泉〕下車後、世界遺産予約バスで約40分(土日祝のみ)。平日はタクシーで約40分(拝観) 境内自由(駐車場) 無料
(電話) 0746・64・0500

す。